

みなさんと力を合わせ

くらし、子育ての願い 実現しました！



市議団の発言 議会の約9割

日本共産党三郷市議団は、前回の市議選でお約束しました公約実現のため、みなさんの切実な声を市政に届け、施策を提案してきました。議会での質疑時間は3年間で374分、全会派を含む発言時間全体の87.5%を占めました。

日本共産党市議団の活動を紹介します

● 子ども医療費18歳まで無料に *

みなさんと粘り強い運動で、2022年10月から県内どこの医療機関でも窓口払いがなくなりました。

2023年4月から18歳までの医療費無料化が実現しました。

● 特定健康診査の自己負担をゼロに *

三郷市の特定健康検診の自己負担をなくすよう市民団体と声をあげ、市との懇談や議会でも何度も取り上げ求めてきました。

2024年度から自己負担分がなくなり、受診率は徐々に伸びています。



● 学校給食費を（7か月間）無償に *

● 生理用品を小中学校トイレに設置 *



市民の願いにこたえるのは…?!

国や県、市の施策に対して、市民の願い実現のため請願が提出されました。

○：賛成 ×：反対

どの党、どの人か、議会での態度を見てみると…	共産党	日本新国会	ク21ラ世ブ紀	公明党	政志会	クネットフイ	みんなのみさと
加齢性難聴者の補聴器購入に対する市の助成制度に関する請願書 (2024年9月議会)	○	×	×	×	×	×	
学校給食の無償化を求める請願書 (2024年3月議会)	○	×	○	×	×	×	
国に対し「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願書 (2023年12月議会)	○	×	×	×	×	×	
「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める請願 (2023年9月議会)	○		×	×	×	×	×
介護保険制度の改善を求める請願書 (2022年12月議会)	○		×	×	×	×	○

※2023年10月6日、「新国会」を結成。(元政志会7名と元みんなのみさと1名が合流、みんなのみさととは解散)

市民とともに 要望実現に全力を尽くす 日本共産党

● 国保税の負担軽減 *

「国民健康保険税の負担軽減を」と日本共産党は訴え続けてきました。2022年4月から小学校入学前までの子ども均等割が、国の制度として半額になりました。

● 5歳児健康診査事業が実施に *

母子保健法は、3歳児までの健診を自治体に義務付けていますが、5歳児健診は任意となっていました。市議団の質問・要望に対し市は、2025年度から実施することになり、こども家庭庁は健診の費用補助などを実施します。

国政でも

物価高からくらしまもります

日本共産党の緊急提案

1 消費税5%で 年12万円の減税

食料品、電気、水道、ガソリン…、毎日の買い物にかかる負担を減らすことこそ一番のくらし応援です。消費税廃止をめざし、大企業・富裕層優遇の税制チェンジします。インボイスは廃止。

2 物価上昇はねのける 大幅賃上げ

中小企業の賃上げを支援し、最低賃金をいまずぐ時給1500円（月手取り20万円）に、さらに1700円へ。物価値上がりとうわまわる年金引き上げ。現役世代に“減らない年金”を保障します。

3 医療・介護の危機打開

「このままでは、ある日突然、病院がなくなる」—くらしを支える基盤が崩壊の危機です。国費5千億円の緊急投入で診療報酬を引き上げます。医療・介護・保育で働く人の賃金を大幅アップします。

財源は 大企業・富裕層に 応分の負担求めます

年11兆円にものぼる減税で、大企業は内部留保を増やし続けています。もうけに応じた負担を求めれば、中小企業支援も賃上げも実現できます。

■ 年金・社会保障を減らす必要はまったくありません。



法人税引き下げと優遇税制の効果
(23年度は推計)